

奉協
仕力勤誠
勉実

創立53年

秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school

HPアドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

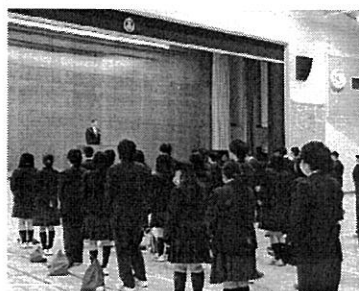
平成31年が始まりました。皆野高校は益々発展していきます。

新年のご挨拶

1月撮影「皆高から眺めるダイヤモンド美の山」→

明けましておめでとうございます。新しい年にあたり皆様の益々のご多幸を祈念申し上げます。また、本年も引き続き、皆野高校の教育活動への御理解御協力をお願い致します。

あちこちで話題になっていますが、5月からは新元号となり、平成最後の正月となりますね。何という元号になるかとても興味があります。と同時に、行政機関としての一面がある学校としては、書類等の整備に不備が無いように対応していかなければならないと考えています。準備を年度内に進め、4月に発表になり次第、実際の対応に移りたいと思います。昨年末には、TV各局で「平成」の30年間を振り返る企画番組が多く組まれていました。新しい元号のもと、どのような歴史が刻まれるかと思うと、「わくわく」します。「昭和」の終わりに近い年に教員生活をスタートさせ、そのほとんどを、高校卒業後に就職する生徒が多数を占める学校で勤めてきました。「昭和」末から「平成の30年間」に至る世の移り変わりや景気の動向を、教員として、生徒を実社会に送り出す側から見つめてきました。その時代その時代で違うこともありますが、変わらないこと・変えてはいけないこともあります。教育における「不易と流行」ということですね。このことを意識しながら、これからの時代を生きる生徒のため、皆野高校は教育活動を充実させ、益々発展しなくてはならないと考えています。



第3学期始業式 1月8日(火) 本格的な新年のスタートです。

始業式にあたり、次のような内容の話しをしました。大きく3点、①新年に向けての抱負の話、②「煮え立った釜から1mもある長い箸でうどんを食べるにはどうしたらよいか。」という話、③「悪人家族(グループ)と善人家族(グループ)どちらが幸せか。」という話です。

①「人は、(切れ目のない)連続する時間の中で、いくつもの区切りをつくって生きてきました。その都度、気持ちを切り替え、悪いことを振り切り、新しい希望に向かう気持ちを高めることができます。正月もその一つ。3年生は社会に飛

び立つ年となるわけですが、1・2年生もそれぞれ各自で目標を立て、実現に向けて気持ちを新たに進んでいきましょう。」

②「とてもお腹が減っているのに、食べられるものといえば、手を入れられないくらい熱くにえたぎった釜の中のうどんしかない。そして箸は1mもあるような長いものがあるだけ。どうしたら食べられますか。という説話があります。食べられたのは、お互いに食べさせるという信頼と思いやりがあったグループだけ。相手を想うことが、自分にも良い結果として戻る。この気持ちを持って日々を過ごしてください。」

③「ある家族(グループ)は善人ばかり。『自分は悪くない。正しい。』『自分こそ正しい。悪くない。』一方、ある家族(グループ)は悪人ばかり。『ごめん、自分が悪かった。準備がたりなかったね。』『ごめんね。そのところ考えてあげられなくて。』どちらが幸せになれるか。自称『善人』ばかりでは幸せにはなれませんね。」

②も③も、有名な説話ですので、御存じの方も多かったかもしれません。お互いを大切にする温かな社会・学校づくりに向け、新年にあたってこのような話をしました。生徒の皆さん。ぜひ心に留めておいてください。

1年生 リージョナルシアター 1月24日(木) 秩父宮市民会館主催事業

1年生を対象に、創造力を育み、自分の思いや気持ちを相手に伝える力を伸ばすことを目的に「リージョナルシアタープログラム」を実施しました。プロのアーティストの方に来校いただきました。生徒もよく取り組んでいました。

「表現」にチャレンジすることの訓練になっており、大変役立つ内容だったと思います。ぜひ今後の学校生活に生かしてもらいたいと考えます。

